



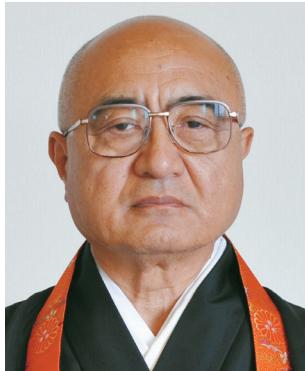
天台スカウト・ニュース

No.15

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
天台スカウトWEBホームページ：<http://www.tendai-scout.jp>



発行日：令和4年1月1日



天台宗スカウト連合協議会
理事長
源田 俊昭

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大、またボーイスカウト日本連盟の方針により、計画しておりました伝教大師1200年大遠忌記念となる第10回天台キャンポリー（会場：琵琶湖畔「比良げんき村」）をはじめ、伝教大師の道心に思いを馳せた記念法要の執行など諸行事が実施できなかったこと誠に残念でなりません。

また、天台宗スカウト連合協議会総裁であられた、第257世天台座主森川宏映猊下の御遷化は誠に悔やまれてなりません。天台キャンポリーの発心会では戒師をお勤めいただき、スカウト青少年に仏の子として戒を授けてくださいましたことは感激に堪えません。哀悼の意を捧げます。

また、多年にわたりスカウト指導者を勤められ、天台宗スカウト連合協議会副理事長、天台B. S第17団（ボーイスカウト稻沢第9団）委員長、そして我々の大先達でありました、林敬順師の御遷化には驚きと悲しみが隠しきれません。日本ジャンボリーや天台キャンポリーの折には、いつもご夫婦でご奉仕いただきましたこと大変ありがとうございました胸に残っております。慚愧の念に堪えません。ご冥福をお祈りいたします。

さて、本年8月には待ちに待った第18回日本スカウトジャンボリーが開催されます。コロナ禍の中でリスクを最小限に抑えながら全国の仲間と一体感をつくることができるか、新たな試みでの開催です。全国各地のフィールドでのキャンプ・オンラインを利用した様々なスカウトプログラムが予定されています。

天台宗スカウト連合協議会といたしましては、伝教大師最澄様の【御心】に重点を置き、物から心の豊かさへと呼ばれている今日、これから日本社会の担い手として成長するスカウト達に「一隅を照らす心」を涵養するベイスカウト道に邁進いたす所存でございます。8月開催の日本スカウトジャンボリーには是非とも皆様のご参加・ご奉仕賜れば幸甚です。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

弥 栄

第38期天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

日時：未定 場所：未定

【参加資格】

- 登録が完了している第2教程申込時に中学生以上のボーイ・ベンチャー・ローバースカウト・ガールスカウトはレンジャースカウト
- 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
 - 天台宗の教えに篤い信仰の心を持つスカウト
 - 天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
 - 家の宗派が天台宗であるスカウト
 - 天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
- 第1教程修了者
- 山道を30キロ歩く回峰行に体力面で耐えうるスカウト

※詳細は令和4年1月中に天台スカウトWEBホームページと天台宗各団宛にご案内いたします。

ガールスカウト滋賀県第14団 発団50周年記念式典

於：滋賀院門跡

令和3年6月6日（日）ガールスカウト滋賀県第14団（天台ガールスカウト第1団）の発団50周年記念式典が滋賀院門跡において、交友団であるガールスカウト滋賀県第5団を招き、計15名で式典を執り行いました。

コロナ禍での開催でしたが、自分たちで決めたルールはしっかりと守れるスカウトなので安心して開催することができました。

普段とは違い厳かで緊張感の高まる式典でしたが、スムーズな司会進行ができました。また、スカウト5団からの発言で「仲良し条約」を結び、絆を深めることができました。



△感染対策を守ります



△お茶会の様子



△姉妹団との絆が深まりました

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：令和3年～令和5年

理事長：源田俊昭（足利第1団）
 副理事長：吉川廣隆（村岡第1団）
 常任理事：山本健二（大津第12団）
 :當麻 蕉（東京都第150団）
 :小鴨 覚俊（大津第12団）
 :葉上 輝保（浅口第3団）
 :神原 彰仁（倉敷第14団）
 :多田 孝元（秦野第1団）
 :小堀 光實（大津第12団）
 :幹 敬盛（加古川第2団）
 :赤松 久美子（滋賀県第14団）
 :林 和伸（稲沢第9団）
 :當麻 好教（東久留米第2団）
 理事：源田俊道（足利第1団）
 :山本 哲（大津第12団）
 :池澤 榮次郎（加古川第2団）
 :増渕 俊哉（秦野第1団）
 :山本 典子（東京都第150団）
 顧問：幹榮盛（加古川第2団）
 相談役：寺本亮洞（東久留米第2団）
 監事：船戸俊宏（天台宗財務部長）
 :小寺 照依（延暦寺教化部長）

スカウト活動（教育）とは？

1908年にイギリスのベーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術（スカウティング）であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教（信仰）」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。